FLAME COLLECTION　取扱説明書

重要なお知らせ：本商品の使用前に必ず下記の取扱説明をご一読下さい。本商品は、暖房器具としての使用には適しておりません。

SECURITY ADVICE　安全のために

1.0　設置方法

本製品は本説明書に従って平坦な面に水平かつ安全に設置して下さい。壁面取り付けタイプの製品は適切な表面及び下地処理を施した壁面へ水平且つ安全に取り付けて下さい。壁面取り付けタイプの製品を自立（据置）タイプの製品の様に据えて使用しないでください。いかなる状況においても、本製品を暖炉としてご使用いただくことは出来ません。電気製品や燃えやすい家具等はこの商品の周囲に置かないで下さい。設置場所における国や地方自治体の消防法、消防/防火対策について確認の上、準拠して設置してください。ご使用中に天井や壁が熱せられない事を必ず確認下さい。壁と天井の素材、高さ、広さによって、本製品を設置いただけない可能性があります。推奨する壁や天井素材の熱貫流率（U-VALUE）は < 0:4 W/M^{2}K.です。

1.1　安全のための範囲・距離

可燃物、易燃物、燃料や爆発する可能性があるもの等は本製品から２mの範囲内に置かないで下さい。本製品と天井までの間には最低1.8mの距離を保って下さい。本製品を使用の際にはすぐに手の届くところに消火器を置いて下さい。ご使用時は1m以上離れた位置からお楽しみ下さい。

1.2　室内の広さと換気

自然換気が出来ない室内で本製品をご使用の際は270㎥以上の空間が必要です。自然換気が出来る環境では54㎥以上の空間でご使用いただけます。空気の対流するような場所や風に直接当たる場所に設置しないで下さい。本製品近くでの出入りや空気の流れは炎に影響します。

設置場所の必要換気量

必要最小空間面積（㎥）	換気（n/h）	備考
270	0,2	風通しの良い建物での換気
90	0,6	機密性のある建物での通常の換気　一般的な換気
54	1,0	1時間以内での完全な空気の入れ替え

換気量の目安

換気量（n/h）	備考
0 ... 0,5	窓やドアを完全に閉め切った状態
0,3 ... 1,5	ルーバー窓やチルト窓を開けた状態
5 ... 10	窓を半分開けた状態

1.3　一般注意事項

商品の一部が高温になるため注意して下さい。また、注意を怠らないでください。

2.0　燃料に関する安全な取扱いについて

人体と環境への注意喚起：RADIUSホームフレーム用燃料は引火性液体（危険物 第四類 アルコール類 危険等級Ⅱ）に属します。本燃料の蒸気は空気より重いため、くぼみや排管、セラー（地下室・貯蔵庫）、床など低い場所に集まります。可燃性ですのでご注意下さい。

2.1　安全対策

すべての安全対策を読み理解するまで取り扱わないこと。使用前に取扱説明書を入手すること。本燃料を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。防爆の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。多量に扱う時は個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避け、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。ミスト、蒸気、スプレー状のものを吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。環境への放出を避けること。

2.2　救急処置

【吸入した場合】空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。吐かせないこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。　【飲み込んだ場合】口をすすぐこと。無理して吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。　【眼に入った場合】水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。　【皮膚（または毛髪）に付着した場合】汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚（または毛髪）を速やかに多量の水と石鹸で洗洗浄すること。皮膚刺激が生じた場合や気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。　【ばく露又はその懸念がある場合】医師の診断、手当てを受けること。

2.3　取扱い及び保管上の注意

【取扱い】技術的対策：製造業者が指定する防爆の電気、換気、照明機器および防爆用工具のみを使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずること。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。禁煙。『2.7　ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。静電気対策のために、装置、機器などの接地を確実に行う。　局所排気・全体換気：『2.7　ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。液の漏洩や蒸気の発散を極力防止する。　安全取扱い注意事項：すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。眠気又はめまい、呼吸器の刺激、器官の損傷のおそれがあるので、本製品に接触、吸入、飲み込みをしてはならない。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。眼に入れないこと。接触、吸入又は飲み込まないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。　接触回避：『2.8　安定性及び反応性』を参照。
【保管 】技術的対策：保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料で葺き、かつ天井を設けないこと。保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。保管場所の床は適当な傾斜をつけ、かつ、適当な溜桝を設けること。保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。　保管条件：熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。－禁煙。冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。酸化剤から離して保管する。容器は直射日光や火気を避けること。容器を密閉して涼しく換気の良いところで貯蔵すること。指定数量１／５以上の量は危険物貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。施錠して貯蔵すること。　混触危険物質：『2.8　. 安定性及び反応性』を参照。　容器包装材料：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

2.4　廃棄

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

2.5　火災時の措置

火災の場合には適切な消火方法をとること。　消火剤：小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤　大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤　使ってはならない消火剤：棒状注水。　特有の危険有害性：火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。加熱により容器が爆発するおそれがある。引火性の高い液体及び蒸気である。　特有の消火方法：散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。　消火を行う者の保護：消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。風上から消火する。

2.6　漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に入る前に換気する。　環境に対する注意事項：排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。　回収：少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。　封じ込め及び浄化方法と機材：危険でなければ漏れを止める。漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。　二次災害の防止策：すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。蒸気発生の多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。関係各所に通報し応援を求める。

2.7　ばく露防止及び保護措置

【設備対策】製造業者が指定するその他の防爆の電気、換気、照明機器を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。「火気厳禁」、「関係者以外立入禁止」等の必要な標識を見やすい箇所に掲示すること。安全管理のため状況に応じて、ガス検知器等を設置する。

SECURITY ADVICE　安全のために

【保護具】保護具は保護具点検表により定期的に点検する。 呼吸器の保護具：適切な呼吸器保護具（防毒マスク（有機ガス用）、高濃度の場合、送気マスク空気呼吸器、）を着用すること。 手の保護具：製造業者が指定する保護手袋を着用すること。 眼の保護具：製造業者が指定する眼の保護具を着用すること。 皮膚及び身体の保護具：保護長靴、耐油性（不浸透性・静電気防止対策用）前掛け、防護服（静電気防止対策用）等製造業者が指定する保護具を着用すること。
【衛生対策】取扱い後はよく手を洗うこと。

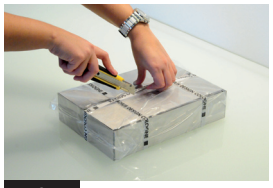
2.8　安定性及び反応性
【安定性】通常の取扱いにおいては安定である。流動、撹拌などにより、静電気が発生することがある。 【危険有害反応可能性】強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 【避けるべき条件】加熱。 【混触危険物質】強酸化剤。強アルカリ。 【危険有害な分解生成物】燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

【燃料取扱の注意】
燃料は完全に火が消え、uniframe本体が冷えていることを確認してから継ぎ足すこと。火が付いている状態で決して燃料を継ぎ足さないこと。
明るいところでは炎が見えにくいため、上記を確認せず燃料を追加すると火が燃料と共に飛び散る恐れがあります。誤った使い方は、火事につながる恐れがあるため、十分ご注意ください。

使用方法

1

屋内外でご使用いただけます。スライド蓋の調節または取外しにより、風の感度が変わります。本製品を屋外で収納する場合、本体の燃焼室は取外し乾燥した場所で別途保管して下さい。

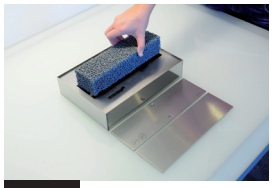


2

ご利用の前に、全ての梱包材を取り除いて下さい。

3

燃焼室から全ての梱包材を外して下さい。



4

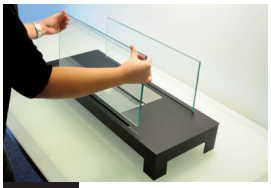
燃焼スポンジを燃焼室の中に設置して下さい。

5

スライド蓋を燃焼室に設置して下さい。MAXの印がある方が手前側になるよう、また穴が開いているスライド蓋を手前側に設置して下さい。

6

フレームの上に燃焼室をセットします。本製品は易燃性素材および可燃性素材の上で使用出来ません。使用に適切な場所をお選びください。
注意：熱に易燃物から最低２メートル以上離して下さい。本製品と天井の間に1.80メートル以上の距離が必要です。



7

フレームのスリットに、ガラスパネルをゆっくり挿し込んで下さい。ガラスパネルを設置する前に、燃焼室をフレームに設置しておいて下さい。

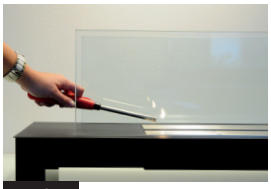
8

燃焼室に箔や包装などの可燃性ものがついていないことを確認してください。スライド蓋の両側を一旦外し燃焼室の中に最大1.7リットル（MAXの印に燃料が見えるまで）のエタノール燃料をゆっくり注いで下さい。燃焼室の周囲に燃料が飛び散らない様にご注意ください。また燃焼スポンジを沈ませないようにエタノールを少しずつ足していって下さい。燃焼室に可燃物や液体を入れないで下さい。
MAXの印まで燃料を注いだ後、点火せずに10分間お待ち下さい。燃焼スポンジはエタノール燃料をよく吸収する為に多少の時間が必要となります。

※炎がついている時や、燃焼室が高温になっている時は、絶対にエタノール燃料を入れないで下さい。

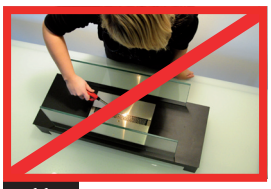
9

連続して使用する場合は、燃焼室が冷えてから再使用して下さい。１時間が経過したら“MAX”の表示までエタノール燃料を補充し、再点火して下さい。



10

長さが20センチ以上のマッチまたは着火ライターで点火して下さい。爆発の恐れが入りますので、3度点火を試みても火が点かなかった場合は、一旦消化スライダーを閉じ、そのまま2分間待ってからもう一度試みて下さい。



11

燃焼室の真上からの点火は厳禁です。安全な距離を置き、必ず横から点火して下さい。また点火時には小規模爆発や炎が伸びる場合がございますので充分ご注意下さい。

12

付属品のフックを利用してスライド蓋を動かすと、炎の高さが変わります。炎が余りにも強くなり過ぎないようご注意下さい。スライド蓋の表面に２つの穴があります。1つは“on”という文字が表示され、もう1つは“off”という文字が表示されています。“on”が表示されている穴をフックを調節すればスライド蓋が開き、“off”の方を調節すればスライド蓋が閉まります。スライド蓋を設置する際、“off”が表示されている穴を向かって奥側にして下さい。
燃焼室のスライド蓋を完全に閉じると消火します。完全に消火するため、スライド蓋を閉じたまま30秒間お待ち下さい。スライド蓋がスムーズに動かない場合は、スライド蓋の両端にカッパーペースト（超高温耐熱グリース）等を塗布して滑りを良くして下さい。

使用方法

13

オプション：保護カバー

炎が完全に消え、冷えてから覆い本体を保護します。

株式会社そとや工房　ジューシーガーデン
〒520-3024　滋賀県栗東市小柿9-4-13　TEL：077-554-2186　FAX：077-551-3571
http://www.juicygarden.jp/